

2005.06.22：総務財政委員会

「医療センターの理事長に前副市長が就任した件について」

池田友信委員

きょうは質問しないでおこうかと思ったんですが、実は質問しなければならぬ状況。きょうの会議の中で、私も27年間やっていますが、これほどきょうの各委員から出されたことについては大変重要な、我々議会として考えなければならぬ、そういう内容でなかったかなと思っております。

先ほどの医療センター、それから泉新都心の問題を含めていろいろ質疑をされたのは、岡委員は元議長でありますし、聞きますと前鈴木議長、それから副議長の中でも、この辺については問題提起をされていると。こういうことを考えていくと、じゃ議会って何だと、こういうふうに私は自問自答を今させてもらっています。少なくとも私が若いころは、こういう人事問題とかなんかは、そういう状況に対して相当各会派の代表者とかいろいろな意見も聞きながら進めてきた経過もありますが、ましてや議会の代表者、副議長、そういう意見を含めながらもこれを進められたと、こういうことに重きを置くと同時に、元議長もそういう問題提起をされたと、こういうことに対して、議会とのあり方についての窓口は総務局長でありますから、言葉では車の両輪というふうに言っておりますけれども、きょうの論議を聞いて、総務局長として、市の当局は議会とどのような関係をこれから築いていくおつもりなのか、どうあるべきなのか。これはきょう公の場でこういう質疑をされたわけですから、記者も聞いておりますし、市当局としてはその辺に対する考え方を出さなければならないと思うんですよ。今までの論議を聞いたり、本会議の中でも我が会派の佐藤わか子議員が発言したこととか、当局側から市長も話しましたがけれども、どうもそのことに対する理由の説明だけで終わっているんですね。そうじゃなくて、議会からこういう発言をされているという、あるいはこういう取り組みを今までやられているということに対して、そういうことの問題をどう受けとめていくのかと、こういうことを真剣に考えないと、我々選挙されて議会に送り出されて、市民の代表として質疑をしているのに、果たしてそういう関係がこれから続いていいのかと。今後、そういう意味では、その窓口たる総務局長が、これから信任されるだろう新しい市の執行部と同時に、そういうことに対してどんな気づき方をしていくかということ、私は非常に大きな問題提起を今されたと思うんですが、まずその辺について、どんな形で受けとめているのか、それをお伺いします。

総務局長

鈴木委員から御指摘いただきましたのは、委員がお話しになりました医療センターの理事であったということからのお話だと思えます。今、お話しいただきました議会との関係でございますけれども、私どもも必要に応じて御相談申し上げている部分はしていかなければならないというふうに思っております。受けとめでございますけれども、きょうの各委員からの御発言等も受けとめまして、私どもとしてもどのように対応していくか、検討していきたいというふうに思っております。

#### 池田友信委員

私も副議長をやらせていただきまして、議会を代表して、いろいろな意味で、そのときの時代の中で市と議会はどうあるべきなのかと、執行部と議会という、そういう部分の中でのいろいろな取り組みをさせていただきましたけれども、きょうの論議を聞いて、私は非常に議会ということに対してのあり方をもう一回根底から我々論議もしなければならぬけれども、当局もそういう部分でぜひ考えていただきたいと、こういうふうなことをきょうは問題提起で終えますが、折に触れて議会と当局執行部のあり方についての窓口の総務局長と、意見交換させていただきたいというふうに思います。